

令和 3 年 2 月 3 日

笠松町長 古田 聖人 様

笠松町総合計画審議会
会長 大成 利広

笠松町第6次総合計画の策定について（答申）

令和2年8月3日付け笠企第235号によって本審議会に諮問のあった標記の件について、慎重に審議した結果、笠松町第6次総合計画（案）を別添のとおり取りまとめましたので答申します。

なお、本計画の推進にあたっては、まちづくりの将来像である「清流木曾川に抱かれた『豊かさ』と『やすらぎ』あふれる創造文化都市」の実現に向け、この計画に掲げた各種施策の着実な実施を求めるとともに、下記の事項に十分配慮し、最善の努力をされるよう要望します。

記

1. 本計画の趣旨や内容を住民に分かりやすく情報発信するとともに、計画内容の進捗を随時把握、公表し、広く住民の理解と協力を求め、住民参画と協働によるまちづくりを進めていただきたい。また、各種施策の推進にあたっては、行政、関係機関が多様性を受け入れる寛容性を持ち、互いに支え合い尊重し合える共生社会の実現に向け、取り組んでいただきたい。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響により私たちの日常生活が大きく変わり、町をとりまく社会情勢の先行きが不透明な中、「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」の新たな社会を見据え、長期的な展望のもと各種施策の見直しを柔軟に行い、時代に即した的確な施策展開を図るとともに、健全な行財政運営を進めていただきたい。
3. 人口減少の進行が予想される中、本計画目標年次（令和12年度）の将来人口目標22,000人の達成に向け、町の資源、特色を活かした“にぎわい”と“癒し”のまちづくりを進め、人口減少の抑制、移住人口の増加を図り、人々がつどう活力ある地域社会を形成していただきたい。
4. まちづくりの課題に即したSDGsに繋がる取り組みを進め、行政として果たすべき役割や使命を実行していただきたい。
5. 共通した課題の解決に向け、より効果が期待できる施策については、国や県からの支援も得ながら、積極的に周辺自治体等との連携を推進していただきたい。